

混合水栓のお湯の温度が高くない！



チェック！

給湯器の温度設定が**50~60℃**になっていませんか？

NO

給湯器の温度を必要な温度より**10℃**高く設定してください。

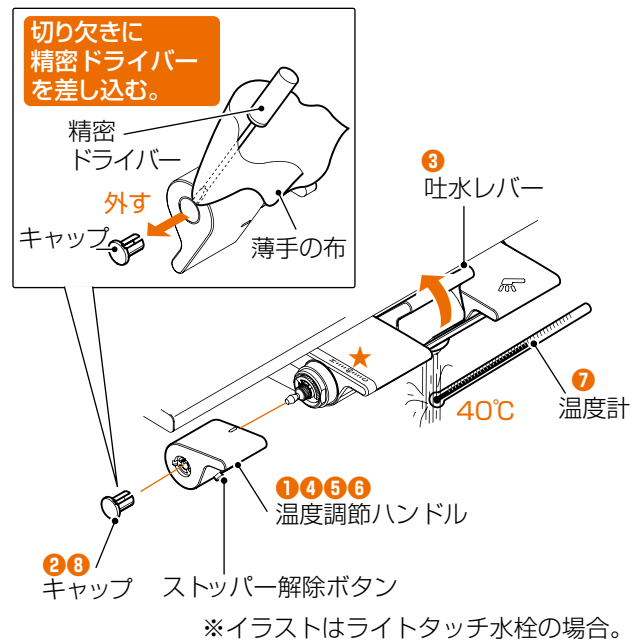
それでも高くない場合は…

温度調節ハンドルの目盛りと、吐水温度を合わせてください。

- 解説**
- 混合水栓は構造上、必要な温度より10℃ほど高めに給湯器の温度設定が必要です。
 - 混合水栓は使用条件によって、温度調節ハンドルで設定した湯温にならないことがあります。(特に冬場は水温が下がり、湯温が上がりにくい場合があります。)

ご自宅のご使用環境（水側、湯側の温度、圧力など）ごとに、最適な温度調節が必要です。詳しくは、**混合水栓の取扱説明書**もしくは、混合水栓にはってある**ラベル**を参照してください。

- 1 温度調節ハンドルを低温側いっぱいまで回す。
- 2 キャップを外す。
キャップに傷がつかないように注意してください。
- 3 吐水レバーを最大まで回す。
- 4 40℃のお湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回す。
ハンドルは「40」付近でロックされます。それ以上に湯温を上げたい場合はストッパー解除ボタンを押しながら回してください。
★：目盛りには関係なく 40℃のお湯が出る位置まで回す。
- 5 お湯を止め、温度調節ハンドルを抜き取る。
- 6 温度調節ハンドルを取り付ける。
- 7 お湯を出し湯温が40℃であることを確認する。
- 8 キャップをはめる。



使用する
道具・洗剤



プラスドライバー



精密ドライバー



薄手の布



温度計

● 混合水栓の温度調節のしかたについては、WEBサイトに動画を掲載しています。

クリックで
WEB サイトへ



QR コードを
読み取って
アクセス

動画を見る



※ここで紹介しているメンテナンス方法は代表的な機種です。詳しくは商品の取扱説明書をご覧ください。